

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	シリコンモールドを使用した網膜硝子体手術シミュレーターの執刀判定試験の有用性		
実施予定期間	研究実施許可日 ～ (西暦) 2024年3月31日		
実施診療科	眼科		
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日	2024年1月15日	
	研究実施承認日	2024年1月15日	
対象となる方	対象期間内に、当院で硝子体手術を受けられた方		
対象期間	(西暦) 2019年4月1日～(西暦) 2023年3月31日		
研究責任者	所属	眼科	氏名 永本 崇
研究の意義	我々はクラフト材料などで一般に使用されるシリコンモールドと呼ばれる素材を用いて網膜硝子体手術シミュレーターを作成しました。経験の少ない術者が執刀を開始するにあたり、より高い安全性を確保するため、けいゆう病院独自の執刀判定試験を考案しましたので、その有用性を検討します。		
研究の目的	シリコンモールドを用いた網膜硝子体手術シミュレーターによる執刀判定試験を考案しましたので、その有用性を評価することを目的とします。		
研究の方法	シミュレーターを導入する前の術者をA、シミュレーターで練習し、判定試験合格後に硝子体手術を開始した術者をBとしました。AとBが手術を完遂した最初の各連続7症例の手術時間と合併症を比較します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を匿名化した上で使用します。(年齢、性別、生年月日等の基本情報、疾患情報、手術情報、手術・麻酔時間、手術日、治療成績、使用した器材等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定ですが、個人を特定できる情報として公表さ		

	れることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除して番号を付けた上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。 当院での実施にあたり、必要な費用はありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途臨床研究審査委員会の審査を受け、院長の許可を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181（代表） 内線2118 眼科 永本 崇